室谷（むろや）ひろゆき 県議会報告

県　庁：金沢市鞍月１－１ TEL 076-225-1027㈹
住　所：加賀市山代温泉14の67 TEL 0761-77-7839
FAX 0761-76-9390

H26年11.12月
合同号

人口の減少に対する不安を抱く人が84％

（日本世論調査会：本年9月実施結果）

その理由

1、社会保障制度が破綻する。

2、働き手が少なくなり経済力が衰える。

3、子どもが減り社会の活力が失われる。

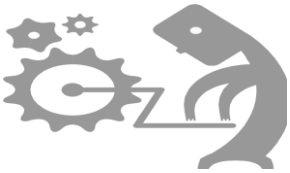
特に

地方の場合、これ以上の人口の流出が続けば

自治体そのものが成り立たなくなっていきます！

これ以上の人口流出をおさえるため、雇用対策強化を！

⇒　人口流出の大きな原因の一つ・・・・・「働く場」



雇用状況の改善策！

- 地場産業の振興
- 新産業創出
- 観光のお客様の拡大
- 企業誘致

県としての産業成長戦略

北陸新幹線金沢開業、金沢港の大水深化、小松空港の国際便の充実などによって、陸海空の交流基盤を整備し、県外及び海外からの需要を獲得する。

又、企業誘致、地場産業の振興、県内企業による新たな産業の創出、首都圏からのお客様の拡大などによって雇用を増やし定住化を図る

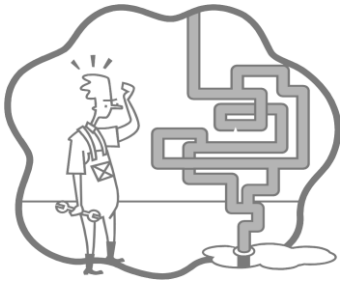
◎ 企業誘致の推進

石川県は、地震などの自然災害が少ないことや、産業用電力の料金が全国で最も安いことなどをアピールして、企業誘致に取り組んでいる。

⇒ H25年度：誘致企業による新規雇用の創出 ・・・・・▶ 1,826人

・㈱棒南ツバタ→津幡町に。　　・㈱ミスズライフ→穴水町に。

【工場増設】



・小松ウォール工業㈱→加賀市で。
・渋谷工業㈱→金沢市で。
・日機装㈱→白山市で。
・東レ㈱、日本ガイシ㈱→能美市で。
・北陸フジコー㈱→小松市で。
・11月～㈱ワイエムシイ小松事業所（H27年8月操業開始予定）

○ 県内企業の新たなビジネス、産業創出を支援
≪いしかわ産業化資源活用推進ファンド事業≫

⇒ 地域資源を活用した新商品・新サービスの開発及び販路開拓等の取り組みに対する助成を行う。（助成額300万円、補助率2／3）

⇒ 193件の申請中85件を採択し、新産業創出への支援を行いました。

○ 産業活力を支える人材の総合的育成を図る

・県内高等教育機関

卒業者の県内就職率は(H26年3月卒)は、47％にすぎない！

・県内大学卒業生の県内就職割合も、(H26年3月)41％と、

半分以上が県外！

参考

県内大学の学生の出身地割合：　**県内出身者　約　4　割**

県外出身者　約　6　割

○　若者が県内で働き、定住化していけるように！

⇒　若者と県内企業を結びつけるため、大学3年生、4年生などを対象とした「ふるさと就職フェア石川」を開催。

又、県として、県内企業の魅力を伝える就職情報誌≪ふるさと就職サプリメント≫を学生に送付。

そして、≪県内企業見学会≫や≪チャレンジ応援就職フェア≫や≪インターンシップフェア≫や≪合同就職面接会≫を年5回開催するなどして、特に、県内大学で学ぶ、学生に一人でも多く県内企業に就職してもらい、県内での定着率を高めていく。

○　非正規雇用者の増加に対して⇒雇用の安定化を目指す。

県内の非正規雇用の割合　⇒　33.4％

内閣府の意識調査結果では、

20代30代の男性が結婚しない･結婚できない理由

「経済的余裕の無さ」

男性の場合、雇用の不安定、賃金が低い、などが

結婚への展望が開けない一因となっています！

例：　（総務省調査では30～34歳非正規雇用男性の既婚率27％

…正社員の半分以下）

非正規雇用から正規雇用への移行を図るとりくみが重要

＜賃金格差を縮小すること＞

県として…トライアル雇用奨励金やキャリアアップ助成金などを実施！
そして、多くの方々が、将来に希望をもって、安心して働けるような労働環境をつくり、県内企業に多くの正規社員を雇える企業力をつけてもらう。

そのため、県として、県内の企業がその成長に向けて、積極的な企業活動が展開できるよう業績改善し、業績が上がるように支援していく。

例：

- 新商品開発面 …▶ 活性化ファンドや開発前段階でのアドバイス等
- 販路開拓面 …▶ 助成による支援
- 経営基盤強化面 …▶ 制度融資における支金枠の確保や企業ドッグによる、経営改善に向けた取り組み支援

北陸新幹線開業を見据えた、首都圏からの誘客戦略！

- 首都圏旅行会社への商談会の実施などの情報発信。
- 受け地の観光素材の磨き上げ。
- 「人とのふれあいと体験」

→ エコツーリズム
→ グリーンツーリズム

県内のグリーンツーリズム施設等の年間利用者の推移
（H17：230万人 ⟶ H25：247万人に増加）

産業観光の推進

- 石川県の魅力の一つ、お菓子をテーマにした「いしかわスイーツ博」の開催
- 大規模な学会や企業の研修など、MICE誘致
- （H25年度：コンベンション開催件数401件・・・毎年増加）
- 将来のリピーターともなり得る教育旅行の誘致

合宿誘致の推進

連泊や平日の利用が見込まれる。又、将来のリピーターとしても期待できることから、これからも、大学等へのPR強化、市や町による経

費面での支援や施設利用での優遇措置を行う。
（H25年：約500件　　宿泊数：延べ4万人）

・ 観光おもてなし塾の実施（接客担当者のスキルアップを図る）
・ 観光案内サインの整備充実
・ 意欲ある旅館等のユニバーサルデザイン化の推進
・ 温泉情緒のある街並み整備として、無電柱化を核とした街路整備の推進

加賀温泉郷の現状 ⇒ テコ入れが必要

本年1月～6月（半年間）の入込客数と対前年比

山　代　温　泉	32万3000人	↘ 95.3%
山　中　温　泉	20万1216人	↘ 99.7%
片 山 津 温 泉	21万2284人	↗ 103.9%

北陸新幹線金沢開業へむけて、
インパクトあるキャンペーンの展開
首都圏での10･11月のPR展開を実施！

○ **≪日本橋･京橋まつり≫への本格参加！！**
・ 石川県パレード→≪ひゃくまんさん≫≪山代大田楽≫≪能登キリコ≫
≪加賀鳶はしご登り≫など
・ いしかわ百万石楽市楽座
ご当地グルメなどの食･地酒･伝統工芸品･物産等の販売ブースや、
開業PR･空港PRなど。
○ 東京駅周辺での開業PRキャンペーン
・ オーケストラアンサンブル金沢とのタイアップによるPR
≪いしかわマルシェ≫の開催（JR東京駅構内）12日間
○ 東急グループとタイアップした沿線地域での情報発信
○ 加賀藩下屋敷跡の≪板橋区民まつり≫での開業PR
○ JRグループとのタイアップによる≪いしかわフェア≫の開催（2カ月間）

さらに、

いしかわ旅行商品プロモーション会議や北陸デスティネーションキャン

ペーンに向けた、全国宣伝、販売促進会議などを通じて市や町、観光団体の魅力的な旅行商品造成に支援していく。

○ 海外誘客3倍増構想の推進

小松空港から直行便が就航する東アジアの誘客を重点的に取り組む。

→直行便がデイリー化した台湾を中心に、

・インセンティブ旅行や教育旅行の誘致

・スキー･ゴルフツアーなどの誘客強化

○ 現地メディアを通じて石川県の観光地をPR

・香港 ― メディアを招へい

・タイ ― 旅行会社やメディアを招へい･観光セミナーの開催など

・欧州 ― 北陸新幹線金沢開業を見据え個人旅行客の誘致を図るため

メディア招へいや観光PRイベントへの出展により、石川県の認知度の向上を図る。

国際線駐車場とターミナルビルとの間の歩道にルーフを整備し、利用者の利便性向上を図る。

⇒ 現 状　外国人年間宿泊客数

（H15年5万人→H25年24万人に増加）

○ 伝統産業の経営安定化

基盤強化の推進

現　状

産　地	年間生産額:H25	H2
山中漆器	98億円 ↘	370億円
九 谷 焼	46億5500万円 ↘	165億円

＊ 年間生産額がピーク時の1／4に　･･･！

生活様式の変化など、国内市場が縮小する中で、国内外への販路を開拓することが大切。

・ いしかわ伝統工芸フェアの開催（都内で）
・ アメリカやヨーロッパ、中国での展示商談会の開催
・ 銀座にある石川県のアンテナショップにおいて、イートインコーナーやカフェで、器を活用し、積極的にPR･販売。

○ 山中漆器産業技術センター、九谷焼技術研修所の運営。

特に、後継者の不足している分野における、若手職人への奨励金の交付、さらには、作り手だけでなく、次代を担う若手経営者の育成などに取り組む。

○ 石川県 ― 国内有数の繊維産地

BUT，海外製品との競合、大手原糸メーカーの生産縮小などによって、厳しい状況が続いています。

⇒ 人口減少時代に入り、国内衣料品市場も、縮小していくことが考えられる中、県内繊維企業は、その高い技術を活用し、新たな分野に参入し、さらに需要を開拓して、競争力を強化していくしかない。

県として　→　医療･健康分野（医療分野との連携）や、東京オリンピック開催によるオリンピック需要獲得を目指した、吸水速乾や冷感性などの高度な機能を有する生地開発などへ支援。

県内 ― 繊維産業やプレス成形などの衣料加工技術の集積という優位性をもっている。

⇒　それをいかすため

「炭素繊維」に参画する県内企業に強力支援！
（鉄よりも軽く強度が強い上、錆びることがない）

又、いしかわ炭素繊維クラスターを、立ち上げ、現在、県内企業は、90社まで増加。

⇒ 今後、航空機や自動車、橋梁や建築等の社会インフラなど炭素繊維の広範な活用を目指していきます。

○ 3Dプリンターの利活用（工業試験場に導入）

3Dプリンターを利用する事によって、試作品の製造が短時間で可能となり、製品開発のスピードアップ、商品提案力が強化、又、多品種少量生産の低コストが可能。
⇒

石川県の基幹産業である機械産業にとって、欠くことのできない装置であるので、県内企業に広く開放し、工業試験場も一体となって、意欲ある県内企業の新製品開発を支援。

県政に対するご意見をおきかせください！

【室谷ひろゆきホームページ】

・・・インターネットで「室谷ひろゆき」で検索すれば・・・
表示の一番上がホームページとなっています。
過去の全ての議会報告などが御覧になれます。

（討議資料）